



線 で 魅 せ る き り 絵
 福 井 利 佐 作 品 展

ギャラリートーク

3月25日(土)・26日(日) 午後1時30分～
 4月22日(土) 午後1時30分～
 6月17日(土) 午後1時30分～

ワークショップ

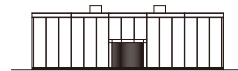
5月21日(日) 午後1時30分～
 参加費用 ¥500

2017/3/25sat ▶ 6/25sun



富士川クラフトパーク内

富士川・切り絵の森美術館
 FUJIKAWA KIRIE ART MUSEUM



線で魅せるきり絵 福井利佐作品展

“線で魅せる切り絵”・・・福井利佐の作品にはこの言葉が最も相応しく思えます。作品の品格とも言うべきもの、あるいは作品の本質的なものを端的に表しているからです。福井利佐はグラフィックデザインを学ぶ美術大学在学中にこの表現方法を発想し、確立しています。地球上に存在するすべての生物や物体・・・、これらはすべて直線ではなく曲線により構成されていると考えたことが原点であったと伺いました。人間が意図的に造った構造物は別にして、地球に存在するすべてのものはその生成過程から常に引力の影響を受けることとなります。そこではその力に逆らいながら直線で存在し続けることは極めて難しく、引力との均衡の中で個々の形を保持し、安定することとなります。その結果、すべての物は曲線で構成されることになり、それらを曲線で表現するという手法は至極理に適っているように思えます。とりわけ、人や動物、鳥や植物などの生物は直線で構成されている部分は一つ無いのかも知れません。

曲線で構成される福井利佐の作品には、見る者にある種の驚きと、ときめくような新鮮さを覚えさせます。同時に、人の心の深淵を覗き込まれているような異様な気配さえ感じます。しかし、やがてその感覚は居心地の良い不思議な安寧の世界へと変わっていくこととなります。それは、人が感じる曲線に対する本能的ともいえる安堵感なのかも知れません。福井利佐の表現方法は、日本の切り絵のイメージを大きく変え、新しい世界を創り出してくれました。紙という素材を鉋やナイフで切り、絵を創作する切り絵・・・。

シンプルに思えますが、そこでは多彩な技法が使われ、個性と特色に満ちた作風が生まれます。

福井利佐による“線で魅せるきり絵の世界”を是非お楽しみいただきたいと思います。

2017/3/25sat ▶ 6/25sun

- 主 催：富士川・切り絵の森美術館
- 共 催：山梨日日新聞社・山梨放送、静岡朝日テレビ
- 後 援：山梨県、市川三郷町、富士川町、早川町、身延町、南部町
テレビ山梨(株)、読売新聞甲府支局、朝日新聞甲府総局
毎日新聞甲府支局、産経新聞甲府支局、日本経済新聞甲府支局
(株)山梨新報社、(株)エフエム富士、(株)エフエム甲府

- 開館時間：午前9時30分～午後5時30分 ※入館は閉館30分前まで
- 休 館 日：毎週水曜日 ※5月3日(水)は開館
- 入 館 料：一般700円(600円) 小中学生300円(250円)
()内は20名以上の団体料金

交通のご案内

- お車でお越しの場合
 - 東京・長野方面からは
・中部横断道六郷IC下車。R52を静岡方面へ約15分。身延町下山「上沢交差点」を右折。
 - 関西方面からは
・新東名高速道路新清水IC下車。R52を甲府方面へ約50分。「上沢交差点」を左折。
- JRでお越しの場合
 - 東京・長野方面からは
・JR甲府駅にてJR身延線に乗換。下部温泉駅下車、タクシー利用で約5分
 - 関西方面からは
・新幹線静岡駅にてJR身延線接続の「特急ワイドビューふじかわ」に乗換。
下部温泉駅下車、タクシー利用で約5分

富士川クラフトパーク内
富士川・切り絵の森美術館
FUJIKAWA KIRIE ART MUSEUM

〒409-2522 山梨県南巨摩郡身延町下山1597
TEL 0556-62-4500 FAX 0556-62-4115
<http://www.kirienomori.jp/>



URL QR コード

